

英語の *actually* について<sup>1</sup>  
— 9つの用法による分類 —

儀間 絢乃

キーワード：*actually*、機能、用法、分類

要旨

*actually* について以下の例文をしてみる：

- a. Interest is only payable on the amount *actually* borrowed. (COBUILD)
- b. Hello, John. ~ *Actually*, my name's Andy. (Swan 2005: p.114)
- c. ... I think it's a good picture *actually*. (Aijmer 2002: p.272)

1つずつ見てみると、a. では動詞を修飾しているが、b. と c. についてはそうとは言えない。このように、*actually* には動詞（句）を修飾する以外にも機能があると分かる。

そこで本研究では、英語の *actually* の機能を考察し、分類することを目的とする。その分類を基に、映画を用いてネイティブスピーカーによる口語での *actually* の使用を分析した。本論文では、まず第2章において、先行研究に Aijmer (2002)、CGE<sup>2</sup>、COBUILD<sup>3</sup>、Swan (2005) を使用し、*actually* の機能を「用法」として分類する。ここでは用法が9つあると仮定している。また、先行研究によって表現は異なるが、本研究における *actually* の用法は、*actually*<sub>1</sub> ~ *actually*<sub>9</sub> とする。そして第3章では映画 *Bride Wars* (2009) を使用し、全10例の例文を分類・分析した。最後に、第4章では、本研究における考察と *actually* の用法をまとめている。

1. はじめに

*actually* はよく耳にする語ではないだろうか。まずは例文を見てみよう：

- (1) Interest is only payable on the amount *actually* borrowed. (COBUILD)  
(筆者訳：利子は実際に借り入れた金額に応じてのみ支払いが可能になる)

---

<sup>1</sup> 本論文は、平成27年1月14日、麗澤大学大学院言語教育研究科に提出した修士論文『英語の *actually* の用法について』を、本論集の執筆要領に沿って一部を削除し、加筆訂正したものである。

<sup>2</sup> CGE: *CAMBRIDGE GRAMMAR OF ENGLISH A COMPREHENSIVE GUIDE Spoken and Written English Grammar and Usage*

<sup>3</sup> COBUILD: Collins Birmingham University International Language Database

(2) Hello, John. ~ *Actually*, my name's Andy. (Swan 2005: p.114)

(筆者訳：ねえねえ、ジョン ~ ごめん、実はアンディなんだけど)

(3) ... I think it's a good picture *actually*. (Aijmer 2002: p.272)

(筆者訳：それいい絵だと思うんだよね)

(1)~(3) の例文において *actually* を1つずつ見ていく。まず (1) では、*actually* は動詞 *borrowed* を修飾する副詞として、現実に行われたことであると強調している。(2) では、相手の *John* という呼びかけに対して *John* ではないと訂正している。そして (3) では、「あくまでも私の意見だけだね」というように「いい絵である」と言い切っていない。*actually* は基本、動詞(句)を修飾する副詞として知られているが、以上の例のように、それ以外の使われ方もあるのだと分かる。辞書や参考書などに挙げられ、既に一般的に知られているものもあるだろう。先行研究でも機能を述べているものがある。しかし、すべての先行研究で同じことが言われているわけではない。では、*actually* には一体いくつの機能があるのだろうか。そのことから、本研究の目的に至る。

## 1.1 研究目的・研究方法

本研究では、*actually* の機能を考察し、分類することを目的とする。研究方法としては、まず第2章で機能を正確に把握するため、Aijmer (2002)、CGE、COBUILD、Swan (2005) を先行研究としてまとめ「用法」とする。*actually* の研究においては、異なる表現を用いて機能を取り上げられ分類されている。しかし本研究では、あくまでも「*actually* が(動詞(句)を修飾するものも含め)どのような機能を果たすのか」を「英語を話す際に *actually* をどう使うか」とするため、あえてそれらの表現は使わず、「*actually*<sub>1</sub> ~ *actually*<sub>9</sub> の9つの用法」として分類していく。次に第3章では、用法別の使用を把握するため、映画を使用して分析を行っている。分析方法として映画を使用した理由は、「英語を話す際に *actually* をどう使うか」ということから、本研究では口語における *actually* の使用を見ていくため、ネイティブスピーカーの会話が行われており、なおかつ発話される状況を映像として見ることが可能だからである。最後に、第4章では分析から言えることを考察として述べた後、本研究における *actually* の用法をまとめ、「おわりに」とする。

## 2. 先行研究

### 2.1 *actually* の9つの用法

ここでは、Aijmer (2002)、CGE、COBUILD、Swan (2005) を先行研究として *actually* の機能を「用法」としてまとめ、その用法は9つあると仮定する。

### 2.1.1 *actually*<sub>1</sub> : 事実であることを強調する

You use *actually* to indicate that situation exists or happened, or to emphasize that is true (COBUILD):

(筆者訳：ある状況が存在することや起こったことを表す、またある状況が真実であることを強調する)

(4) Interest is only payable on the amount *actually* borrowed. (= (1))

(筆者訳：利子は実際に借り入れた金額に応じてのみ支払いが可能になる)

(4) の *actually* は、*borrowed* を修飾して「借り入れた事実がある」ことを強調し、その場合の金額に応じて利子の支払が可能であるとしている。

### 2.1.2 *actually*<sub>2</sub> : 予測や期待を現実と対比する

*Actually* can often be used emphatically, especially to refer to something which is in sharp contrast with expectation (CGE: 9b):

(筆者訳：*actually* は、特に予測とのはっきりとした対比があるものに言及するのによく強調して使われる)

(5) There *actually* is a plant that produces what is known as ‘the curry leaf’.

(筆者訳：実は「カレーリーフ」として知られる葉をつける植物がある)

(5) の *actually* は、「そのような植物があるとは思っていない」という予測と「ある／存在する」現実を、「にわかには信じられないかもしれないが」という含みをもって対比している。

### 2.1.3 *actually*<sub>3</sub> : 2つのもの（望ましいものとそうでないもの）を対比する

*Actually* often implies a contrast between a desirable and an undesirable situation (CGE: 9b):

(筆者訳：*actually* は、望ましい状況と望ましくない状況の違いを示す)

(6) Unlike a blender, the juicer *actually* separates the juice from the pulp. (based on example from CGE)

(筆者訳：ミキサーと違い、ジューサーは果肉から果汁を分離する)

(6) の *actually* は、果汁を抽出するのに果肉を含むか否かでミキサーとジューサーを対比している。その対比は、話者にとって好ましいものとそうでないもの（希望（ここでは「果汁を含むか否か」））である。

#### 2.1.4 *actually*<sub>4</sub> : 誤りを訂正する

*Actually* can correct misunderstandings (Swan 2005: p.114):

(筆者訳 : *actually* は誤解を訂正することができる)

(7) Hello, John. ~ ***Actually***, my name's Andy. (= (2))

(筆者訳 : ねえねえ、ジョン ~ ごめん、実はアンディなんだけど)

(7) の *actually* は、*John* と間違えられたことに対して、その誤り (誤解) を訂正するのに使われている。

#### 2.1.5 *actually*<sub>5</sub> : *actually* よりも前に現れる疑問文や平叙文の前提を覆す

*Actually* can be used to say that the hearer's expectations were not fulfilled (Swan 2005: p.145):

(筆者訳 : *actually* よりも前に出てくる疑問文や平叙文の前提 (聞き手の予期すること) を覆す)

(8) How was the holiday? ~ Well, ***actually***, we didn't go.

(筆者訳 : 旅行どうだった? ~ あの一、そのことなんだけどさ、行ってないんだ)

(8) の *actually* は、聞き手が「相手が旅行に行った」という前提をもって質問しているのに対して、「そう思っているだろうけど... (実は行ってないんだ)」と、相手の思っていることを覆すのに使われている。

#### 2.1.6 *actually*<sub>6</sub> : 情報を追加したり、物事を明らかにする

6つ目の用法としては、具体的に次の2つが挙げられている。それぞれの例文を見ていく :

*Actually* can introduce additional surprising or unexpected information. (Swan 2005: p.145)

(筆者訳 : 追加情報の提示、驚くべき情報・予想外の情報を導入し伝える)

*Actually* are used to make things clearer, more precise or more definite. (Swan 2005: p.7)

(筆者訳 : 物事を明らかにしたり、より明確または確実にする)

(9) a. The weather was awful. ***Actually***, the campsite got flooded and we had to come home. (Swan 2005: p.145)

(筆者訳 : 天気最悪で、それに、キャンプ場は水浸しになっちゃうし家に帰らなきゃならなかったんだ)

b. Was the concert nice? ~ Yes, **actually** it was terrific. (based on example from Swan 2005: p. 145, p. 7)

(筆者訳：コンサートよかった？ ~ うん、すっごく良かった。)

c. Did you meet the Minister? ~ Yes. **Actually**, he asked us to lunch. (based on example from Swan 2005: p. 145, p. 7)

(筆者訳：大臣に会ったの？ ~ うん。実は昼食に私たちを招待してくれたの)

d. How did you get on with my car? ~ Well, **actually**, I'm terribly sorry, I'm afraid I had a crash. (Swan 2005: p.8)

(筆者訳：僕の車はどうしたの？ ~ あの、実はね、非常に申し訳ないんだけど、ぶつけてしまったんだ。)

(9a) の *actually* は、追加情報の提示である。キャンプには行ったが、「天気が悪かった (情報1)」ことに加え、「キャンプ場が水浸しになり (情報2)」、「家に帰ることになった (情報3)」という出来事を情報として次々に追加し、提示している。(9b) の *actually* は、コンサートはただ良かったのではなく「とても」良かったと伝えている。つまり、コンサートが良かったかという質問に肯定的に答えることで良かったことを示し、その程度がどうであったのかを追加情報として提示している。(9c) の *actually* は、大臣に会っただけでなく、さらに昼食に招待されたと言っている。つまり、「大臣に会う」という貴重な機会を得た上に、昼食に招待されるというさらに貴重な体験をしたという驚きまたは予想外の出来事を伝えている。(9d) の *actually* は、話者が、借りた車をぶつけてしまったことを打ち明けている。出来事を打ち明けることは物事を明らかにしていると言い換えられるだろう。また、質問した聞き手にとっての驚くべき情報または予想外の情報を伝えていることになる。

### 2.1.7 *actually*<sub>7</sub> : 会話に新しいトピックを導入する、話題を変える

You use *actually* to introduce a new topic into a conversation (COBUILD):

(筆者訳：*actually* は、会話に新しいトピックを導入する (持ち出す) のに使う)

(10) Well, **actually**, John, I rang you for some advice.

(筆者訳：ねえねえ、あのさ、ジョン、アドバイスがほしくて電話したんだけど)

(10) の *actually* は、何かを修飾しているわけではなく、*John* に *I rang you for some advice.* と伝えることを示している。先に *well* を言うことで自分の発話ターンであることを表わし、その後と言うことがあると合図している。

### 2.1.8 *actually*<sub>8</sub> : (質問を肯定的にとらえ、) 相手が言ったことを正しいとする

*Actually* can be used to say that somebody ‘guessed right’ (Swan 2005: p.145):

(筆者訳: *actually* は相手を正しいと言うのに使うことができる)

(11) Did you enjoy your holiday? ~ Very much, *actually*.

(筆者訳: 旅行楽しかった? ~ すごく楽しかった、ほんと)

(11) の *actually* は、(ある程度) 楽しかっただろうという予測を立てて質問してきた相手に、「その通り、楽しかった」というように肯定的に返事をしている。

### 2.1.9 *actually*<sub>9</sub> : 文末に現れる *actually* は、語調を和らげる

In final position, the only function of the particle seems to be to soften what has been said by treating it as an opinion or evaluation (Aijmer 2002: p.275):

(筆者訳: 文末においては、*actually* を意見や評価として扱うことで、*actually* の機能が、和らげるようだ)

(12) A : I think it's a good picture

C : [əhə]

A : but [əm] I would find [ˈdhi: əm] - the colour not the theme so much but the colour I ((would)) find [ə] you know too heavy for my room but I think it's a good picture *actually* (= (3))

(それいい絵だと思うんだよね)

C : [m] - [m]

A : I like [dhi] you know the upper part (Aijmer 2002: pp.272-273)

(12) の *actually* は、話者の「いい絵だと思う」という意見を、「あくまでも自分の意見だが」「個人的にはそう思うのだけど」と和らげている。*I think it's a good picture.* のみでは話者の意見ではあるが、「いい絵である」ことを断定し主張が強く感じられるだろう。しかし *actually* をつけることで、話者の意見を主観的な意見として表わしているため、「語調を和らげる」ことになる。

## 3. 映画 *Bride Wars* (2009) における *actually* の分類

第2章で見てきた *actually* の9つの用法が、ネイティブスピーカーによってどのように使用されているのかを、用法ごとに見ていく。ここでは、映画 *Bride Wars* (2009) に現れる *actually* 全10例の分類を行った。

### 3.1 映画 *Bride Wars* (2009) の概要<sup>4</sup>

弁護士の Liv と教師の Emma は親友であり、幼いころに見た結婚式に憧れていた。偶然にも同じ日にプロポーズを受けた2人は早速式の予約に行き、人気のウェディングプランナーによって念願の（6月にプラザホテルで挙げる）結婚式が叶うことを喜ぶ。しかし手違いでダブルブッキングされてしまったため、どちらかが譲らなければならない状況になる。2人は互いの式に出るため、仕方なくどちらかが諦めるまで式の準備をしないと約束したが、いつものように Emma が折れてくれると思っている Liv は招待状のカード選び（つまり式の準備）をしてしまう。それを知った Emma が挙式の日時が決定した際に出す事前通知のメールを送ったため、2人は喧嘩になる。それ以降、代わりの介添人探しから始めなければならない2人の結婚式の準備は、互いの嫌がらせを受けながらも進んでいく。結婚式当日、Emma の新婦入場時に流す DVD をすり替えていた Liv は部下で介添人の Kevin に DVD を元に戻すよう伝えるが、Kevin がそれをしなかったために、Emma が Liv の式に乗り込み取っ組み合いになる。仲直りをするも、準備を通して Liv と婚約者の Daniel は仲を深めていた一方で、関係が上手くいかなくなっていた Emma とその婚約者 Fletcher はその場で別れることになる。Liv の式では幼い頃遊んでいたように Emma が隣に並んで歩き、後に Emma は Liv の兄 Nate と結婚する。1年後の Liv と Emma は、互いに妊娠し予定日も一緒だと喜ぶ。

### 3.2 *Bride Wars* (2009) に現れる *actually* の分類

以下の例文において、*actually* を含む文の訳（（ ）書きで表記）は映画の字幕を使用している<sup>5</sup>。しかし例文の後の各説明における解釈（「 」書きで表記）は、字幕によるものと筆者によるものがある。また訳には下線がついているものもあるが、それは筆者によるものであり、*actually* が相当するだろうと判断した部分である。

#### 3.2.1 *actually*<sub>1</sub> : 事実であることを強調する

この用法に当てはまる *actually* は3例見つかった：

- (13) Liv : What do we do first?  
Emma : First. Oh! I was thinking.

**It might be a good idea to *actually* get the proposal.** [00:12:38,069]  
(まずはダニエルにプロポーズさせないと)

(13) は、Liv が実際にはまだプロポーズを受けていないにも関わらず友人や兄に婚約を

<sup>4</sup> 参考：IMDb (<http://www.imdb.com/title/tt0901476/>)

<sup>5</sup> 字幕に含まれるスペース（半角・全角共に）は体裁の関係で筆者により追加・削除してある。

発表した後の会話である。そして、結婚する当人の Liv と介添人の Emma が今後の結婚までの準備について話している。ここでの *actually* は動詞の *get* を修飾しており、「まだ受けていないプロポーズを受ける必要がある」という事実を強調している。また、*split infinitive* (分離不定詞)の用法でもある。

- (14) Emma : **But just so you know if you heard what was *actually* going on, you would totally side with me.** [00:42:30,430]  
(あなたも事情を知ったら私の味方になるわ)

(14) は、Emma が、Liv に対する嫌がらせで配達人に届け物を頼み、支払いをする場面である。Emma は嫌がらせをしたのを後悔したのか、配達人が出てきて荷物を取り戻せないか聞くがもう遅いと言われ、後戻りできないと吹っ切れた様子で支払いをする。それによって、自分の言い分が正当であるため事情を堂々と言えとでもいうような強気な発言ととれる。ここでの *actually* は、*go(ing) on* を修飾しており、その事情が起きていることを強調している。

- (15) Daniel : The International Butter Club?  
**You mean, you've *actually* been sitting around eating sticks of butter from different lands?** [00:48:25,318]  
(君はそこに座って世界のバターをかじってたの?)

(15) では、Liv が、今までに届いたお菓子が婚約者の Daniel からの贈り物ではなく、Emma による嫌がらせだったことに気づきいて怒りを露にしている。それをよそに、Daniel があるお菓子の名前を見て半信半疑の様子で Liv に聞いている場面である。ここでは、*actually* は動詞の '*ve(= have) been sitting* を修飾している。また、「Liv がそこに座って世界のバターをかじっていた」ことが真実であると強調している。というのも、「自分の予測と Liv の行動」よりも、Liv の行動に対して、「実際にそんなことをした(そのような行動をとった)のかい?」のように、Daniel の「本当にそうなのか?」という疑いを強めて言っていると解釈できるからである。そのため、ここでの *actually* は *really* にも置き換えられるだろう。

### 3.2.2 *actually*<sub>2</sub> : 予測や期待を現実と対比する

この用法に当てはまる *actually* は2例見つかった:

- (16) Fletcher : He's very pitchy.  
Emma : You know what? **That is *actually* a real thing.** Pitchy.

It's not just code for someone you don't like. [00:13:08]

(“ピッチャー”の意味は“嫌い”じゃないわ)

(16) は Emma と彼氏の Fletcher が家でくつろいでいる場面である。初めにテレビを見ていた Fletcher がその内容を受けて使った *pitchy* という言葉の使い方について話している。ここでの *actually* は、*a real thing* を修飾しており、*pitchy* は本来の意味を表す時に使い（現実）、Fletcher が思っている使い方（予測）では使わないという「予測」と「現実」の対比をしている。

(17) Nate : Where's where's the groom?

Emma : Oh. Oh. He's not here.

Liv : **Well, he hasn't actually popped the question yet.** [00:10:57,702]

(求婚はまだよ)

(17) は、婚約を発表した Liv を友人や兄(Nate) が祝っている場面である。後から来た Nate が、花婿がいないことを質問し、Emma と Liv が答えている。ここでの *actually* は、*hasn't popped the question yet* を修飾している。また、婚約発表の場なのでプロポーズを受けているはず（予測・期待）だが、実際はまだ（現実）という「予測や期待」と「現実」を対比している。

(プロポーズを受けていないことを強調している場合には1の用法、プロポーズを受けている（望ましい）こととそうでないことを対比させて言っている場合には3の用法も考えられるだろう。)

### 3.2.3 *actually*<sub>4</sub> : 誤りを訂正する

この用法に当てはまる *actually* は2例見つかった：

(18) Liv : Erin, no. I did not sleep with him. All right, ok. **I did, actually.** Once. ...

[00:36:44,013] [電話で]

(分かった 1回だけ寝たわよ)

(18) は、それぞれ介添人を探さなければならなくなり、手当たり次第に電話をしたかっつの友人と Liv の会話である。ここでの *actually* は、前述した *I did not sleep with him.* を指して、事実と違うことを言ったという誤りを訂正している。

(19) Liv : Well, how was it? How was the vacation?

Emma : It was amazing.

Liv : I want to know everything about it. **Actually, I don't.** [01:13:46]  
 I really don't. You married my brother. That's weird. So I don't want to know anything, ever.  
 (ウソよ 兄の結婚生活なんて知りたくないわ)

(19) は、結婚式後、久しぶりに会った Liv が、Emma の休暇について聞こうとする場面である。ここでの *actually* は、前述した *I want to know everything about it.* を指して、自分で言った言葉を訂正している。

### 3.2.4 *actually*<sub>5</sub> : *actually* よりも前に現れる疑問文や平叙文の前提を覆す

この用法に当てはまる *actually* は 1 例見つかった：

(20) Liv : Should we toast? To marriage?  
 Emma : **Um, actually, I'm not drinking.** [01:23:58,616]  
 (最近は飲んでないの)

(20) は、Liv が Emma の結婚祝いに乾杯しようと提案している場面である。ここでの *actually* は、お酒を飲む Emma だから飲むだろうと思って乾杯を提案している Liv に対し、「そう思っているだろうけど飲まない」と、Liv の考えを覆している。

### 3.2.5 *actually*<sub>6</sub> : 情報を追加し、物事を明らかにする (追加情報の提示、驚くべき情報・予想外の情報を導入し伝える、物事を明らかにしたりより明確または確実にする)

この用法に当てはまる *actually* は 1 例見つかった：

(21) Liv : Emma? You send out your save-the dates?  
 Emma : **Yeah, I did, actually.** [00:33:20,911]  
 (ええ 出したけど)  
 Liv : Uh-  
 Emma : Surprised?

(21) は、Emma と Liv の婚約お祝いパーティーで、2 人の喧嘩の発端になる場面である。式の日がちが重なりお互い譲らない中、約束を破った Liv に怒って Emma が日がち指定したメールを (Liv を除く) 一斉に送信してしまう。Liv は Emma がメールを送ったことを友人から聞き、今知ったところである。ここでの *actually* は、Liv の質問に対し、「本当にそうした」ことを明らかにしている。

### 3.2.6 *actually*<sub>7</sub> : 会話に新しいトピックを導入する、話題を変える

- (22) Liv : You guys must have had really cute kids. Uh, yeah. Tell him I say hi, and--  
***Actually, I'm hopping into a cab, so I'm gonna give you a call a little later.*** [00:37:06,669] [電話で]  
(今タクシーに乗るところ...あとでかけ直すわ)

(22) は、(18) と同じ場面である。*actually* の前後で話の内容が変わっているのは文脈から分かるが、さらに、Liv は話の最中に決まりが悪くなったのか、「ごめん、今タクシーに乗るところなんだ...」と友人カップルの話から自分の都合が悪くなったことへと意図的に話題を変えている。

### 3.3 考察

3.2 では、映画 *Bride Wars* (2009) に現れる *actually* を含む例文、全 10 例を見てきた。特に新しい用法は見られなかったが、特徴的に見られた形として以下の 2 つを挙げる。1 つ目は「自己修正」であり、10 例中 2 例あった。例文は以下の通りである：

- (18) Liv : Erin, no. I did not sleep with him. All right, ok. ***I did, actually.*** Once. ...  
[00:36:44,013] [電話で]  
(分かった 1 回だけ寝たわよ)
- (19) Liv : Well, how was it? How was the vacation?  
Emma : It was amazing.  
Liv : I want to know everything about it. ***Actually, I don't.*** [01:13:46]  
I really don't. You married my brother. That's weird. So I don't want to know anything, ever.  
(ウソよ 兄の結婚生活なんて知りたくないわ)

どちらも *actually*<sub>4</sub> の「誤りを訂正する」用法である。

2 つ目は分離不定詞 (split infinitive) と呼ばれるものである。1 例あった：

- (13) Liv : What do we do first?  
Emma : First. Oh! I was thinking.  
***It might be a good idea to actually get the proposal.*** [00:12:38,069]  
(まずはダニエルにプロポーズさせないと)

1例しかなかったものの、不定詞の *to* と動詞の間に副詞が入る特徴的な形の例として挙げておく。

例文の数は少ないが、用法別の頻度は以下（表1）の通りである。

表1 映画 *Bride Wars* (2009) における *actually* の用法別頻度<sup>6</sup>

用法	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	計
頻度	3	2	0	2	1	1	1	0	0	10

本研究の分析で使用した映画 *Bride Wars* (2009) には、「*actually*<sub>3</sub> : 2つのもの（望ましいものとそうでないもの）を対比する (CGE: 9b)」、「*actually*<sub>8</sub> : (質問を肯定的にとらえ、) 相手が言ったことを正しいとする (Swan 2005: p.145)」、「*actually*<sub>9</sub> : 文末に現れる *actually* は、語調を和らげる (Aijmer 2002: p.275)」の3つの用法は現われなかった。しかし、数多くある映画のうちこの1作品に現れないという理由で「*actually* にそのような機能（用法）は無い」とは言えないため、本研究における *actually* の用法から外すことはしない。

#### 4. まとめ

本論文を振り返り、まとめると、まず第1章では、はじめに、*actually* は基本的な動詞（句）の修飾以外の機能も果たし、それにより使用頻度が高いのだらうと述べた。そのことから本研究の目的を「*actually* の機能を考察し、分類すること」とし、第2章で Aijmer (2002)、CGE、COBUILD、Swan (2005) を先行研究として *actually* の機能を「用法」としてまとめた。それを基に第3章とでは、ネイティブスピーカーによる *actually* の用法別の使用を把握するために映画 *Bride Wars* (2009) を用いて分析を行った。

本研究では、先行研究による *actually* の機能を9つあると仮定し、それらを「*actually* を使用する際の *actually*<sub>1</sub> ~ *actually*<sub>9</sub> の『用法』」として提示してきた。9つの用法は次の通りである。1) *actually*<sub>1</sub> : 事実であることを強調する (COBUILD)、2) *actually*<sub>2</sub> : 予測や期待を現実と対比する (CGE: 9b)、3) *actually*<sub>3</sub> : 2つのもの（望ましいものとそうでないもの）を対比する (CGE: 9b)、4) *actually*<sub>4</sub> : 誤りを訂正する (Swan 2005: p.114)、5) *actually*<sub>5</sub> : *actually* よりも前に現れる疑問文や平叙文の前提を覆す (Swan 2005: p.145)、6) *actually*<sub>6</sub> : 情報を追加したり、物事を明らかにする (Swan 2005: p.145, p.7)、7) *actually*<sub>7</sub> : 会話に新しいトピックを導入する、話題を変える (COBUILD)、8) *actually*<sub>8</sub> : (質問を肯定的にとらえ、) 相手が言ったことを正しいとする (Swan 2005: p.145)、9) *actually*<sub>9</sub> : 文末に現れる *actually* は、語調を和らげる (Aijmer 2002: p.275) 用法である。

<sup>6</sup> 表内において、スペースの関係から、用法の表記を本文中の *actually*<sub>1-9</sub> から「用法」と「①～⑨」に変えている。

分析においては、映画 *Bride Wars* (2009) を使用し、そこに現われる *actually* を用法別に分類・分析した。口語での使用や「*actually* を使用する（英語を話す）際の用法」を見るという点において、判断しづらい部分もあったが、各場面や登場人物の関係を踏まえながら *actually* の使用を分析することができただろう。

#### 参考文献

- Aijmer, K. (2002). *English Discourse Particles : Evidence from a corpus*. Amsterdam / Philadelphia: John Benjamins Publishing Company.
- Carter, R, & McCarthy, M. (2006). *CAMBRIDGE GRAMMAR OF ENGLISH A COMPREHENSIVE GUIDE Spoken and Written English Grammar and Usage*. Cambridge University Press.
- O'Keeffe, A, McCarthy, M, Carter, R. (2007). *From Corpus to Classroom: language use and language teaching*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Sinclair, J. (2009). *Collins COBUILD Advanced Dictionary of American English*. MONOKAKIDO.
- Swan, M. (2005). *Practical English Usage*. Oxford: Oxford University Press.
- Traugott, E. (2002). *Regularity in Semantic Change*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Needham, C. (1990-). Retrieved 12 24, 2014, from Internet Movie Database: [www.imdb.com](http://www.imdb.com)
- Winick, G. (Director). (2009). *Bride Wars* [Motion Picture].
- 儀間絢乃. (2015). 「英語の *actually* の用法について」. 麗澤大学大学院言語教育研究科 英語教育専攻修士論文.

